

事業所名

くすのき

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

2月

1日

法人（事業所）理念	1. 利用者が明日に希望が持てるサービスを目指します 2. 多彩なサービスを提供することで、地域の方に頼られる法人を目指します 3. 職員が遣り甲斐・働き甲斐が持てる職場づくりを目指します。		
支援方針	1. 心身ともに安定した生活づくりをしましょう 2. お友だちや先生といろいろなことをやってみましょう 3. 「できた・やった」の体験を積み重ねましょう		
営業時間	8時30分から	17時50分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	来所時に検温を実施し健康管理を行っております。 個別療育において臨床心理士がご家庭と連携しながら健康面や生活リズムについて情報共有します。またご家庭における健康面や生活においてのお困りごとや不安なことがひとつでも減っていくように保護者の皆様とともに考えてまいります。	
	運動・感覚	課題場面における姿勢保持や運筆、鉛筆の持ち方などの道具の動作についての確認をしていきます。 頑張る姿勢や取り組もうとする姿勢を応援し、できたこと、頑張ろうとしたことはしっかりと評価し達成感が持てるように支援を行います。	
	認知・行動	臨床心理士等の専門訓練士と連携しながらお子さん一人ひとりの認知特性のアセスメントを行い、発達段階に応じた認知機能の発達を促す課題の提供を行います。また、みる” “きく” “やってみる” 姿勢の経験を重ねていきます。“できたこと” “頑張ろうとする姿勢” をしっかりと認めて評価することで、お子さんが達成感が持てるように支援を行います。	
	言語コミュニケーション	言語聴覚士等の専門職員と連携しながらお子さん一人ひとりに応じたコミュニケーション手段のバリエーションが広がっていくように支援を行っています。 遊びを通じてコミュニケーションの基礎となる人への意識（“人と関わって楽しいな、もっと伝えたいな”）が芽生えるような関わりや環境の設定を工夫していきます。職員とのやりとりはもちろん、お子さん同士のやりとりも設定しながら、“こんなときにはこんな風に伝えるといいんだ” というコミュニケーション方法をともに練習していきます。	
	人間関係 社会性	臨床心理士を中心とした専門訓練が学校生活における人間関係や友だち付き合いなどにおける困りごとについて、保護者の方とも連携しながら一緒に解決策を考えていきます。また、必要に応じて学校など各関係機関とも連携しながらお子さんの学校生活における困りごとがひとつでも解消できるよう支援してまいります。	
家族支援	個別療育時に臨床心理士等の専門職員がご家族の不安や悩みをお聞きする時間を設けております。ご家族の不安や悩みがひとつでも減っていくように一緒に考えていく体制を作ってまいりたいと思っております。また個別療育時以外も、随時ご相談を受け付けております。	移行支援	進学や進級、就職といった様々なライフステージにおいて各関係機関と連携しお子さんの持っている力を十分に発揮しより豊かな生活が出来るように情報交換または共有を行っていきます。
地域支援・地域連携	臨床心理士を中心に個別療育を行い必要に応じて教育・行政・医療・福祉の関係機関と連携しながら、お子さんの学校生活や地域での暮らしがより豊かになるように支援を行っています。	職員の質の向上	外部研修への積極的な参加はもちろん2か月に1回外部講師（鳥取大学 井上雅彦先生・大羽沢子先生）によるコンサルテーションを実施しております。井上先生、大羽先生よりお子さんへの関わりについての助言をいただき、日々の支援に活かしています。職員も日々の支援の振り返りが出来るため、自己研鑽に繋がっています。
主な行事等	個別療育のため、現在行事等の実施は予定しておりません。		